【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公表番号】特表2008-546831(P2008-546831A)
【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-051
【出願番号】特願2008-518952(P2008-518952)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/10　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　15/44　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　27/00　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　31/00　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　63/00　(2006.01)
Ａ０１Ｐ　3/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　33/02　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/47　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　37/02　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　31/10
Ａ６１Ｌ　15/03
Ａ６１Ｌ　27/00　Ｇ
Ａ６１Ｌ　29/00　Ｂ
Ａ６１Ｌ　31/00　Ｂ
Ａ０１Ｎ　63/00　Ａ
Ａ０１Ｐ　3/00
Ａ６１Ｐ　33/02
Ｃ０７Ｋ　14/47

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月26日(2009.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
真菌感染及び/又は原生生物感染を予防又は治療する医薬の製造のための、アポリポタンパク質の硫酸ヘパランプロテオグリカン（HSPG）レセプター結合領域に由来するペプチドの反復を含むポリペプチド、その誘導体又は類似体の使用。
【請求項２】
ペプチドが、アポリポタンパク質B又はアポリポタンパク質Eの硫酸ヘパランプロテオグリカン（HSPG）レセプター結合領域に由来する、請求項1に記載の使用。
【請求項３】
ペプチドが、アポリポタンパク質B LDLレセプター結合ドメインクラスターB又はアポリポタンパク質E LDLレセプター結合ドメインクラスターBに由来する、請求項1又は2に記載の使用。

【請求項４】
ポリペプチドが少なくとも2つのRKRモチーフを含む、請求項1から3のいずれか1項に記載の使用。
【請求項５】
ポリペプチドが、配列番号:5、配列番号:6、配列番号:7又はその誘導体の直列ダイマー反復を含み、前記配列において、RKRモチーフ以外の少なくとも1つのアミノ酸残基が、アルギニン（R）、チロシン（Y）、メチオニン（M）、イソロイシン（I）、フェニルアラニン（F）、トリプトファン（W）、システイン（C）又はその誘導体によって置換されている、請求項1から4のいずれか1項に記載の使用。
【請求項６】
置換又は代用される残基が、前記ポリペプチドの第1番目、第2番目、第3番目、第7番目、第8番目、第9番目、第10番目、第11番目、第12番目、第16番目、第17番目又は第18番目の残基である、請求項5に記載の使用。
【請求項７】
少なくとも1つのアミノ酸置換がアルギニン（R）、フェニルアラニン（F）又はトリプトファン（W）残基、又はその誘導体である、請求項5又は6に記載の使用。
【請求項８】
ポリペプチドが下記式をもつ、請求項1から請求項7のいずれか1項に記載の使用：
{abcRKRxyz} ＋ {a'b'c'RKRx'y'z'}　　（式I）
式中、
a及びa'は、それぞれ独立に、アルギニン（R）、チロシン（Y）、メチオニン（M）、イソロイシン（I）、フェニルアラニン（F）、トリプトファン（W）、ロイシン（L）、リジン（K）、ヒスチジン（H）、システイン（C）から選択されるか、又は欠失されてあり；
b及びb'は、それぞれ独立に、アルギニン（R）、チロシン（Y）、メチオニン（M）、イソロイシン（I）フェニルアラニン（F）、トリプトファン（W）、ロイシン（L）、リジン（K）、システイン（C）から選択されるか、又は欠失されてあり；
c及びc'は、それぞれ独立に、アルギニン（R）、チロシン（Y）、メチオニン（M）、イソロイシン（I）、フェニルアラニン（F）、トリプトファン（W）、ロイシン（L）、リジン（K）、ヒスチジン（H）、スレオニン（T）、システイン（C）から選択されるか、又は欠失されてあり；
x及びx'は、それぞれ独立に、アルギニン（R）、チロシン（Y）、メチオニン（M）、イソロイシン（I）、フェニルアラニン（F）、トリプトファン（W）、ロイシン（L）、リジン（K）、ヒスチジン（H）、グリシン（G）、システイン（C）から選択されるか、又は欠失されてあり；
y及びy'は、それぞれ独立に、アルギニン（R）、チロシン（Y）、メチオニン（M）、イソロイシン（I）、フェニルアラニン（F）、トリプトファン（W）、ロイシン（L）、リジン（K）、ヒスチジン（H）、システイン（C）から選択されるか、又は欠失されてあり；
z及びz'は、それぞれ独立に、アルギニン（R）、チロシン（Y）、メチオニン（M）、イソロイシン（I）、フェニルアラニン（F）、トリプトファン（W）、ロイシン（L）、リジン（K）、ヒスチジン（H）、システイン（C）から選択されるか、又は欠失されてある。
【請求項９】
ポリペプチドが少なくとも1つの追加アミノ酸を含み、前記追加アミノ酸はそれぞれ独立に、アルギニン（R）、チロシン（Y）、メチオニン（M）、イソロイシン（I）、フェニルアラニン（F）、トリプトファン（W）、ロイシン（L）、リジン（K）、ヒスチジン（H）から選択することができ、さらに前記追加アミノ酸が、式Iのペプチド中で位置aのアミノ酸の前のN-末端に付加される、請求項8に記載の使用。
【請求項１０】
ポリペプチドが、ペプチドアポ$E_{141-149}$（配列番号:5）又はその変種の反復を含む、請求項１から9のいずれか1項に記載の使用。
【請求項１１】

直列反復が、トリプトファン（W）、アルギニン（R）、リジン（K）、チロシン（Y）又はフェニルアラニン（F）置換からそれぞれ独立に選択される少なくとも2つの置換を含む、請求項10に記載の使用。

【請求項１２】

ポリペプチドが、配列配列番号:8－34のいずれか1つに記載のアミノ酸配列を含む、請求項10又は11に記載の使用。

【請求項１３】

ポリペプチドが、アポBのHSPGレセプター結合領域由来のペプチドの反復を含む、請求項1から9のいずれか1項に記載の使用。

【請求項１４】

ポリペプチドがヒトのアポリポタンパク質B LDLレセプター結合ドメインクラスターBに由来する、請求項13に記載の使用。

【請求項１５】

ポリペプチドが、アポ$B_{3359-3367}$（配列番号:6）又はその短縮型若しくは変種の反復を含む、請求項13又は14に記載の使用。

【請求項１６】

ポリペプチドが、配列番号:36－55のいずれか1つに記載のアミノ酸配列を含む、請求項13から15のいずれか1項に記載の使用。

【請求項１７】

医薬が子嚢菌類感染の予防又は治療用である、請求項１から16のいずれか1項に記載の使用。

【請求項１８】

医薬がアスペルギルス種、カンジダ種及びフザリウム種から成る群からそれぞれ独立に選択される真菌による感染の予防又は治療用である、請求項1から17のいずれか1項に記載の使用。

【請求項１９】

医薬が肉質虫亜門の感染の予防又は治療用である、請求項１から18のいずれか1項に記載の使用。

【請求項２０】

医薬がプラスモディウム種又はアカントアメーバ種による感染の予防又は治療用である、請求項１から19のいずれか1項に記載の使用。

【請求項２１】

請求項1－16のいずれか1項中で規定されるポリペプチド又はその誘導体若しくは類似体の治療的に有効な量を含む、真菌感染及び/又は原生生物感染の予防及び/又は治療用医薬組成物。

【請求項２２】

真菌汚染及び/又は原生生物汚染を防止及び/又は処置する方法であって、その必要がある物体又は表面を、真菌又は原生生物の殺滅又は増殖防止に有効な量の、請求項１から21のいずれか1項に記載のポリペプチドで被覆することを含む、前記方法。

【請求項２３】

医療装置、レンズ、コンタクトレンズ、カテーテル、ステント、創傷治療包帯、避妊具、外科用インプラント及び代用関節から選択される物体が被覆される、請求項22に記載の方法。

【請求項２４】

病院の病室表面、手術教室の表面、台所の表面及び公衆便所の表面から選択される表面が被覆される、請求項22に記載の方法。